

定例集会

日曜日	9:30 ~	子ども礼拝
	10:30 ~	礼拝
	13:00 ~	聖書学び会
	17:00 ~	聖書学び会
水曜日	10:00 ~	聖書学び会
	19:30 ~	祈り会
木曜日	10:00 ~	婦人会
	17:30 ~	中高生集会
土曜日	14:00 ~	中高生祈り会
	14:00 ~	土曜学校
	19:30 ~	聖書学び会

教会地図



当教会は、聖書を誤りのない神のみことばと信じ、書かれてある通りに受け入れるディスペンセーション主義の教会です。エホバの証人・統一協会・モルモン教などの、聖書に書かれていないことを語る団体とは一切関係ありません。

泉北キリスト恵み教会 Tel: 072-292-6030

大阪府堺市南区釜室 588-10 副牧師：山崎祐也 ホームページはこちら ▶



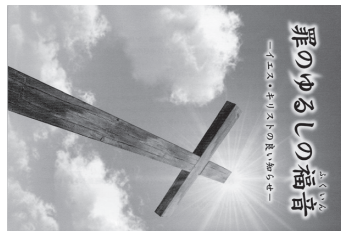
◎ ここに真理がある

多くの人々が持っている考え、疑問に対して率直に答えてくれる一冊
(B6版 60ページ)



◎ 罪のゆるしの福音

神様が聖書を通して語っておられる福音(良き訪れ)を分かりやすくまとめた小冊子
(A6版 18ページ)



当教会では、以下の物を無料でプレゼントしています。ご希望の方は、表の「通信欄」にその旨をご記入の上ご返送ください。

† Grace Times

救いとは？

「信じる者は救われる」という言葉を聞いたことはないでしょうか。聖書の中には「救い」「信じる」という言葉が何度も出てきます。また教会で歌われる賛美の中にも「ただ信ぜよ。信じる者は誰も皆救われん」という歌詞があります。

この「救い」とは何を意味しているのでしょうか。しばしば教会に、金銭、病気、人間関係など、様々な悩みを抱えている方が来会されます。それらの悩みを解決することが「救い」であると思われるのかもしれませんが。しかし、聖書が語る「救い」は、地上の様々な悩みを解決するというものではありません。全ての人間が抱えている最大の問題である、死と死後に待っている地獄の刑罰からの「救い」であるのです。

なぜ救いが必要か？

これを読まれて「どうして私に地獄の刑罰からの救いが必要なのか」「私はそんなにひどい罪人ではない」と思う方がいらっしゃるかもしれません。確かに警察に捕まるような犯罪者ではないかもしれませんが。しかし、聖書が語る罪とは、警察に捕まるような犯罪だけを指すではありません。罪とは、神様に逆らうことです。

聖書には、この世界を造られた真の神様がご存在されると記されています。造られた世界や生き物の仕組みを通して、知恵と力をもって設計し、創造された神様が存在されることを明らかにしておられます。その中でも人間は特別な愛の対象として造られました。神様は人間との愛の交わりを求められました。人間には神様の愛を喜び、愛に応えて生きるという幸いな目的が与えられたのです。神様はそのために、人間にいのちを与え、生きるために必要なものをこの世界に備えてくださいました。

罪が死後の裁きを招く

ところが、人間は神様に生かされているにも関わらず、神様を無視して生きています。「神など存在しない」「神が存在しても自分とは関係がない」と考えています。他にも木や石で作られた偶像を拝み、真の神様を拒絶しています。これは神様に対する罪です。

「神について知りうることは、彼らの間で明らかです。…彼らは神を知っているながら、神を神としてあがめず、感謝もせず、…朽ちない神の栄光を、朽ちる人間や、鳥、獣、這うものに似たかたちと替えてしまいました。」※1

さらに神様を無視した結果、嘘をつこうが、腹を立てようが、陰口を言おうが、不道徳を行おうが「人間なら誰でもやっていることだ」と言って、平気で罪を犯すようになっていきます。

真の神様は人間の行い、言葉、心で考えたことも全てをご存知です。神様の前では何一つ隠し事はできません。自分の人生を振り返った時に、このような罪が一つもないと言える方がいらっしゃるでしょうか。聖書は「義人はいない。一人もいない。」※2とはっきり語っています。

神様は聖なるお方であって、罪を忌み嫌っておられます。また義なるお方であって罪を必ず裁かれます。「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」※3と聖書に記されています。その裁きとは、火の燃える地獄に投げ込まれて永遠に苦しみ続けるという刑罰です。死んで地獄に入ってしまったなら二度と出ることはできません。ですから罪人には死後の地獄からの「救い」が必要であるのです。

救い主と十字架

驚くことに、神様は罪人を地獄から救うために、天から救い主を遣わしてくださいました。それが神の御子イエス・キリストです。宗教の作り話、架空の存在ではなく、今から約 2000 年前に実在されたお方です。生涯の最後に十字架につけられました。それは、罪人が犯した罪を背負って罰を受けるためでした。すなわち、あなたの罪が赦されるために、身代わりに苦しんで死んでくださったのです。そして、墓に葬られましたが、三日目に死を打ち破りよみがえられました。その後、弟子たちに現れ、彼らの前で天に昇って行かれました。神様は復活を通して、このお方が

天から遣わされた唯一の救い主であることを確証してくださいました。

信仰による救い

どうすれば「救い」を得ることができるのでしょうか。良い人間になれば、修行すれば、善行を積みめば救われるのではありません。誰でも自分が神様の前に罪人であることを認め、悔い改めて、イエス・キリストを自分の神様、地獄からの救い主であると信じるなら、信仰によって救われます。信仰とは、神様の約束を信じ、イエス・キリストに信頼することです。

当教会ではこの地獄からの「救い」をお伝えしています。ぜひ皆さまも、イエス・キリストを信じ、地獄から救われ、「信じる者は誰も皆救われん」と共に賛美する方になってください。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」※4

※1ローマ人への手紙 1 章 19～23 節 ※2ローマ人への手紙 3 章 10 節
※3ヘブル人への手紙 9 章 27 節 ※4ヨハネの福音書 3 章 16 節

郵便はがき

〒590-0122
堺市南区釜室588-10
泉北キリスト恵み教会行

お手数ですが
切手を貼って
お出ください。

〒 市 郡
■ ご住所
(フリガナ)
■ お名前
■ お電話
■ 年 齢
才 職 業
■ ご職業

◎該当するいずれかに○印をつけてください。

1. 聖書を学んでみたい。
2. 集会に出席したい。
3. 訪問を希望。(いずれも無料です)

■ ご意見・ご感想 (通信欄)